

シンポジウム

プロフェッショナルの本質

講演者と演題

馬場 靖憲 (東京大学先端経済工学研究センター教授)

問題提起

今井 彰 (NHK番組制作局社会情報番組部プロジェクトXチーフプロデューサー)

プロジェクトXが追いかけたプロフェッショナル

阿部 栄一 (日産自動車株式会社常務総合研究所長)

日産自動車総合研究所における新しい研究開発マネジメントの模索

野津 英夫 (住友スリーエム株式会社技術本部統轄部長)

スリーエムの研究マネジメントの本質

千本 倅生 (イー・アクセス株式会社代表取締役社長)

起業家精神を支えるもの

司会

児玉 文雄 (東京大学先端経済工学研究センター教授)

趣 旨

現在、20世紀における価値の源泉であったモノは、ひととおり家庭に行き渡り、規格大量生産型の製品は、海外から低価格で供給される。一方、知識・情報集約型産業は21世紀における高付加価値の提供者として、確実にその姿を現し始めている。このような産業社会の変曲点においては、過去の成功体験がそのまま通用する保証はなく、むしろ、ものごとはゼロベースから再考されざるを得ない。現実を直視すれば、日本の行政・企業組織のなかに、ものごとの間に新しい関係を発見し、その行動を通じて新しい時代の価値を実現する人間を育成することこそが時代の急務となる。

それでは、どのようにして、技術政策、また、技術経営において、時代の鍵となる人材を獲得することが可能になるのであろうか。これらに携わる個々人が、そのおかれた立場で真の意味のプロフェッショナルになることによるのみ、課題は解決され、時代の閉塞は切り開かれる、というのが我々の仮説である。それでは、そのようなプロフェッショナルとはいかなるもので、その本質は何か。日本人はプロフェッショナルについてどのようなイメージを持っており、また、本当にプロフェッショナルになる事を希望しているのか。プロフェッショナルを大量に養成することは可能か。そして、それを可能ならしめるための社会的要件は何か。本パネルでは、本学会に関連する分野におけるプロフェッショナルについて、本質的かつ多面的な議論を展開する。